**令和〇年〇月〇日**

**〇株式会社  
〇部  
〇 〇 様**

**株式会社〇  
〇部  
〇 〇**

**特許権侵害に関するご指摘および和解提案への回答**

**拝啓　貴社ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。**

**平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。**

**さて、先般ご送付いただきました貴社書面（令和7年10月3日付）にて、弊社製品「△△」が、貴社保有の特許「AA」（特許第1234567号）に抵触しているとのご指摘、ならびにライセンス契約による和解提案を頂戴いたしました。**

**本件につきまして、弊社開発部門および外部特許専門家の立会いのもと、技術仕様書・回路設計図・制御プログラムの比較検証を実施いたしました結果、以下のとおり明確な相違点が確認されました。**

**■ 技術的な相違点について**

1. **噴霧ユニット構造の差異  
   貴社特許が採用する「AA」に対し、弊社製品は「BB」を採用しており、振動方式および噴霧メカニズムが根本的に異なっております。**
2. **AI湿度制御アルゴリズムの相違  
   貴社が特許請求項で主張する「室温連動型の線形制御ロジック」ではなく、弊社「△△」では外部センサーとの連携による\*\*非線形制御方式（独自特許出願中：出願番号234567）を採用しております。よって、制御理論・アルゴリズム上の構成が一致いたしません。**

**以上の点から、弊社としては貴社の特許権を侵害している事実は確認されず、特許法上の「技術的範囲の属否」に該当しないものと判断しております。**

**そのため、誠に恐縮ながら、現時点において貴社よりご提案いただきましたライセンス契約締結による和解案には応じかねる次第でございます。**

**もっとも、貴社のご懸念および市場上の混同防止の観点から、今後の製品改良時における「技術的相互理解の場」を設けることには前向きに検討いたします。**

**また、誤解や不必要な争訟を避けるため、技術仕様や設計方針についての説明会を弊社技術部より正式にご案内申し上げる予定です。**

**なお、本件に関しては、引き続き弊社顧問弁護士である「弁護士法人 御堂橋法律事務所」土橋祐二 弁護士を通じてご連絡申し上げます。**

**今後の協議や書面提出については、同弁護士宛にお願いいたします。**

**弊社といたしましては、貴社との協調的な関係を重視しつつも、自社の正当な技術開発の成果を守るべく、引き続き法的根拠に基づいた誠実な対応を行ってまいります。**

**まずは書中をもちまして、正式なご回答とさせていただきます。**

**敬具**